

学習内容報告書 フォーマット

学校名	芝山町立芝山中学校
授業者	森 孝行

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

自然体験学習について

1-2. 学年

第2学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

生徒は、総合的な学習の時間の中で、1年次からSDGsについて調査し活動している。本単元においては、複数の教科で学習したことを深めたり、共有、表現したりすることを行う。

深める方法として、生徒自身で調査するだけでなく、環境教育の第一線で活躍されている大学の先生によるリモート授業を行うことで、新しい情報や、観点を得られる。そうした広がりをもたせ学習の内容を深めていく

共有、表現する方法として、始めに班や班同士の話し合い活動をする時間を確保する。そうすることで、自分だけの意見や考えに囚われない多様性に富んだ考え方をもつことができる。更に、プレゼンテーションをすることで、自分の考えを論理的にまとめあげることができる。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

様々な教科で学習した内容について、プラスチックごみ（マイクロプラスチック）との関連性や関係性があるかを考えまとめる。

生徒自身が、更に調べたいことや、今後、実践したいことなどを決定し、学んだことから次の課題を見つけたり、日常生活や社会に利用しようとしたりする態度が養う。

自分の考えたことを相手に伝わるようにプレゼンテーションを行う。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

他教科の内容を意識的に取り入れながら学習をすることで、既習事項の内省が行われ相互の学習が深まる。学んだことから次の課題を見つけたり、日常生活や社会に利用しようとしたりする態度が養われ、豊かな創造性を備えた持続可能な社会の創り手となるような生徒を育成する。

多くの生徒とディスカッションし自分の意見をブラッシュアップし行動に移すことで、民主的な市民を育成できる。

1-7. 単元の展開（全 9 時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックごみが、なぜ問題かを学習する。 ・プラスチックごみが増え続けていることを理解する。 ・プラスチックごみを減らすために、自分たちができることを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による指導／外部講師及び教科担任 ・主な評価／生徒が主体的に学習していた ・外部連携／筑波大学人間系 山本容子准教授 ・使用教材等／映像資料のプリントしたもの
4	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックごみ問題、採取の方法、採取した結果等、これまでに学習したことについてプレゼンテーションの準備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による指導／学級担任及び教科担任 ・主な評価／生徒が主体的に調査し準備をていた ・外部連携／なし ・使用教材等／教科書、タブレット
2	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習してきたことをまとめ、プレゼンテーションを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による指導／学級担任及び教科担任 ・主な評価／生徒が主体的にプレゼンテーションをしていた ・外部連携／なし ・使用教材等／教科書、タブレット
2	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容を、今後の日常生活の中にどのように活かしていくか考え意見交換を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による指導／学級担任及び教科担任 ・主な評価／生徒が主体的に活動していた ・外部連携／なし ・使用教材等／教科書、タブレット

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ


単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

プラスチックごみ（マイクロプラスチック）がなぜ問題なのかを理解することができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>○学習課題を確認する</p> <div data-bbox="185 927 1107 1043" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>なぜ、プラスチックごみ（マイクロプラスチック）が問題になっているのか？</p> </div> <div data-bbox="288 1077 683 1301" style="text-align: center;">  </div> <p>○プラスチックごみが自分自身にとって身近な問題かどうか考える</p> <p>○現在、世界で起きているプラスチックごみ問題について知る。</p> <p>○プラスチックごみがなぜ増え続けているのか理解する。</p> <p>○プラスチックごみ問題の解決方法を思索することができる。</p> <p>○学習前と比べてプラスチックごみが自分自身にとって身近な問題になったかどうか考える</p>	<p>・筑波大学准教授 山本容子先生の紹介をする。</p> <p>※プラスチックごみについて学習前の生徒の意識を確認する（ワークシート）</p> <p>・カメやクジラ等の生物がプラスチックを食べてしまうことを知る。</p> <p>・プラスチックが太陽の光にあたると徐々に分解されマイクロプラスチックになってしまうことを理解する。</p> <p>・マイクロプラスチックは直径 5 mm 以下の微細なプラスチックであることを理解する。</p> <p>・プラスチック製品が生活を便利にしていることを理解することができる。</p> <p>※生活の中のプラスチック製品を代替できるものを考えることができる（発表・ワークシート）</p> <p>※プラスチックごみについて学習前の生徒の意識を確認する（ワークシート）</p>

3. 今回の活動の自己評価

- 様々な教科で学習した内容について、プラスチックごみ（マイクロプラスチック）との関連性や関係性があるかを考えまとめることができた。
- 外部講師（大学の先生）によるリモート授業を行うことで、教科書で学習した内容に留まらず、更に発展的な内容の学習ができた。
- 生徒自身が、日常生活の中でプラスチックごみを減らすために自分自身の生活を顧みたり社会に貢献しようとしたりする態度が養えた。

4. 今後の課題

- プレゼンテーションを実施したが、生徒がまとめたり深めたりするための時間の確保が非常に難しく年間で考えると、何度も実施することができない。
- プレゼンテーション資料をつくるためには、写真や動画の記録資料が不可欠である。しかし、生徒全員にいきわたるほどのカメラや持ち出し可能なタブレットがなく写真や動画の保存が困難であった。購入するにしても、1台の金額が予算の大きな割合を占めてしまうことから、どうしても個々の活動には限界があった

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特にありません。

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。